

無極性循環アダプター取付説明書

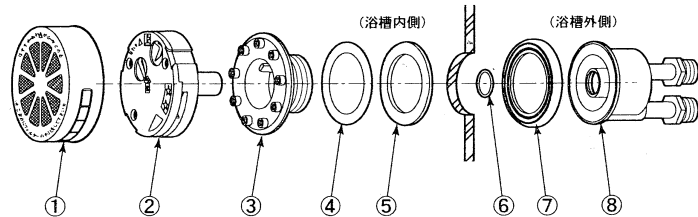
△注意

- ・循環アダプターの角部や突起で手指などにけがをしないよう注意してください。
- ・循環アダプターからは、高温水（60～80℃）が出る場合がありますので、注意してください。
- ・強酸性の洗剤や塩素系のカビ洗浄剤は部品をいためる恐れがありますので使用しないでください。
- ・この取付説明書は、工事終了後に必ずお客様にお渡しください。

- ・この循環アダプターは、浴槽の厚さ20mm以下のものに使用できます。
- ・この循環アダプターは、行き・戻りの指定はありません（無極性）。

■取付の前に

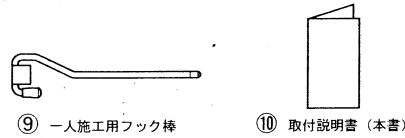
取付の前に、下記部品の数量を確認してください。
(平シートと平パッキンは取付けたままにしておいてください。)



循環アダプター本体

番号	品名	数量
①	フィルター	1
②	フィルターガイド	1
③	オネジ	1
④	平シート	1
⑤	平パッキン	1
⑥	リング	1
⑦	カプセパッキン	1
⑧	循環ロボディ	1

※循環ロボディは品番により形状が異なります。



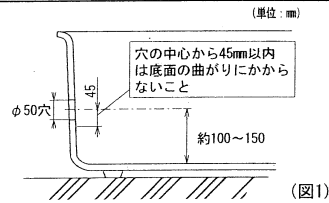
付属品

番号	品名	数量
⑨	一人施工用フック棒	1
⑩	取付説明書(本書)	1

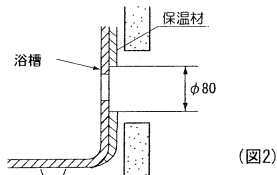
■取付手順

●浴槽の穴あけ

- 浴槽の底部から約100～150mmの位置にφ50mmの穴を開け、パッキンの当たり面を平滑にしてください。
※浴槽コーナーRにかかる場合は最小寸法で上にずらしてあけてください。平面部でないとうみ漏れします。
このとき、穴の中心から45mm以内は浴槽底面の曲がりにかからない位置にし、平面部を確保してください。
また、バリはきれいにしてください。(図1)

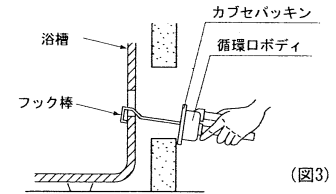


- 浴槽の外側に保温材があるものは、直径約80mmの範囲内を丁寧に取り除いてください。(図2)
保温材が残っているとシール性が悪くなり水漏れのおそれがあります。



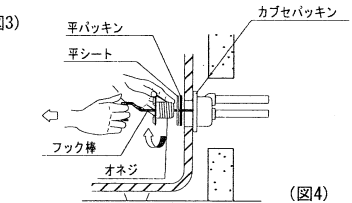
●浴槽への取付け

- オネジを左に回して循環ロボディ（カプセパッキン付き）から外します。
※パッキン類、Oリングの紛失にご注意ください。
- 循環ロボディの中の左ネジに一人施工用フック棒を合わせて一人施工用フック棒が回らなくなるまで左に回します。
※一人施工用フック棒は、循環ロボディ取付の際、循環ロボディのカラ回り防止の為左ねじになっています。



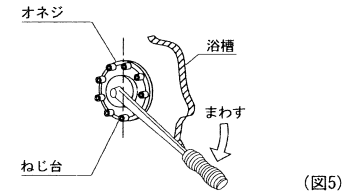
- 浴槽の穴に一人施工用フック棒の柄の部分をつっかけます。(図3)

- 浴槽側から一人施工用フック棒を引き寄せ、平パッキン・平シート・オネジを通し、オネジを循環ロボディに手締めします。
平シートは必ずオネジ側になるように取り付けてください。浴槽側に取り付けると水漏れの原因となります。



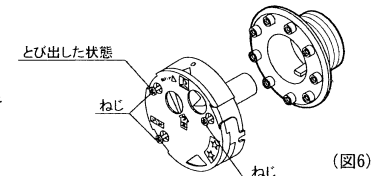
- 一人施工用フック棒を右に回して取りはずし、手締めでいっぱいまでねじこんでください(図4)。

- 専用の取付工具(別売品)をオネジに差し込み、右に回してしっかりと固定します。
めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1/2回転から3/4回転程度右へ回してください。(オネジのねじ台のいずれかが真下になるように固定する。)
オネジの締め付け不足は水漏れの原因となります。又逆に締め付けが強すぎると(約1回転以上)破損し、水漏れするおそれがあります。
オネジを締め付けた際に平パッキンが変形した場合は、一度オネジを取りはずし、再度締め付けてください。
(平パッキンを水でぬらすと変形しにくくなります。)(図5)



⑥漏れ検査

- 専用の漏れ検査治具を使用して、おいただき配管の漏れ検査を必ず行ってください。
(取付方法・検査方法については漏れ検査治具説明書をご覧ください。)



⑦フィルタガイド・フィルタの取付

- フィルタガイドは必ず「↑上」というマークが最も上になるようにし、**ねじ3本の頭を飛び出した状態**にしてオネジに差し込み、ねじを締め付けます。(図6)
※取付けがズれるとふろの沸き上がり温度が上下で均一になりにくくなります。
- フィルタガイドの「△」刻印にフィルターの「△」刻印を合わせてはめ込み、右に止まるまで回します。(図7)
※刻印の合っていないと無理して押し込まないでください。わき上がり温度が上下で均一になりにくくなるばかりでなく、フィルターが破損する恐れがあります。

